



スマホが危ない

4月のニュース報道で、「警察庁は自転車の交通違反に対して『青切符』による取締りを来年4月1日から行う方針を固めた。携帯電話を使用しながら運転する『ながら運転』は1万2千円の反則金」との事。

ちなみに、改正道路交通法では昨年11月から『ながら運転』を禁止しており、事故を起こした場合には1年以下の懲役または30万円以下の罰金が科せられることになっています。

オンラインカジノの報道も記憶に新しいところですが、これらのニュースからはスマホの依存・中毒症状がいかに大きな社会問題になっているのか、ということが読み取れます。

そもそも、私たちがスマホを使い過ぎてしまうのは、スマホを通じて新しい情報に触れることでドーパミンが分泌され、手っ取り早く快楽を得られるからだそうです。ドーパミンは、人間特有の行動に対して、その報酬として「気持ちよさ」を与えます。私たちはそれを味わい続けたいために、その行動を繰り返すようになるのです。それが行き過ぎると、やめたくてもやめられなくなる依存症へとつながります。

アップル社やマイクロソフト社の創業者であるスティーブ・ジョブズやビル・ゲイツが、自分の子どもをスマホやデジタル機器から遠ざけていたのは有名な話。ビル・ゲイツ夫妻は、自分の子どもたちに14歳になるまでスマホを持たせませんでした。

さて、本校の子どもたちはどうでしょうか。調査をしたわけではありませんので正確な数値はわかりませんが、高学年になると、その所持率は高くなっているよう

に思われます。

家庭での固定電話がなくなり、親が子どもと連絡を取るためのツールとして、子どもに携帯電話を持たせておられるご家庭もあるでしょう。学校でもICT教育の推進としてタブレット使用を推進していますので、携帯電話等の所持は時代の流れ上、避けては通れないことかも知れません。

ただ、それに伴ってさまざまな問題が起こってきていることも事実です。子どもたちに身近な話でいえば、SNSによる誹謗中傷や仲間外し、言葉の意味の取り違いや言葉足らずで思いが伝わらずに人間関係を悪化させてしまう…等々、日々のストレッサーとなってしまっていることが多々見られます。

「3つの大問題」

また、「スマホが子どもに与える3つの大問題」として以下の3つがあります。

1. 学力の低下…画面を見る時間が1時間を超えると、国語・算数・理科・社会の成績が低下。
2. 脳の発達が止まる…ネットの利用時間が長い子ほど、脳の発達が止まる領域が多い。
3. 依存症を引き起こす…集中力がなくても楽しめるアプリやゲームが多く、すぐに繰り返したくなる。スマホが手元にあるだけで、注意力が散漫になってしまう。

という、データもあるようです。

高浜小では、高学年を対象に「ひまわり教室」を実施して、SNS利用の怖さや注意事項を周知したり、情報モラル教育も随時行ったりしてはいますが、ご家庭でもぜ

ひ、お子様と使い方について話し合いをお願いしたいと思っています。1階にいる親が、2階にいる子どもと会話するのに携帯電話を介して…といった現実の是非も含めて、夏休みを迎える前にぜひ、よろしくお願ひいたします。

6月を振り返って

「高浜七年祭」の期間中、たくさんのみなさま方にご来校・披露していただきました。



いろいろとお世話になり、どうもありがとうございました。

7月の主な行事予定

8日（火）縦割り班遊び

老健施設訪問（4年）

9日（水）書写指導①（4年）

アンガーマネジメント研修（6年）

10日（木）委員会

薬物乱用防止教室（6年）

11日（金）水辺の安全教室（6年）

15日（火）児童集会

16日（水）書写指導②（4年）

23日（水）保護者会 集団下校9:40

24日（木）大掃除、通学班の会

集団下校15:00

25日（金）1学期終業式 集団下校11:20

28日（月）本日より夏季休業

*今年も航空自衛隊幹部候補生学校（奈良県）の方々、計171名が、7/25（金）～7/31（木）までの期間、本校校舎を宿泊を利用して水泳訓練を行われます。ご承知おきください。